### 第5回 持続可能な物流の実現に向けた検討会

資料1-2

Seino Information Service Co.,Ltd.

SIPスマート物流サービス 「地域物流」の取り組み



2023年1月17日



取締役 早川 典雄



## 目次

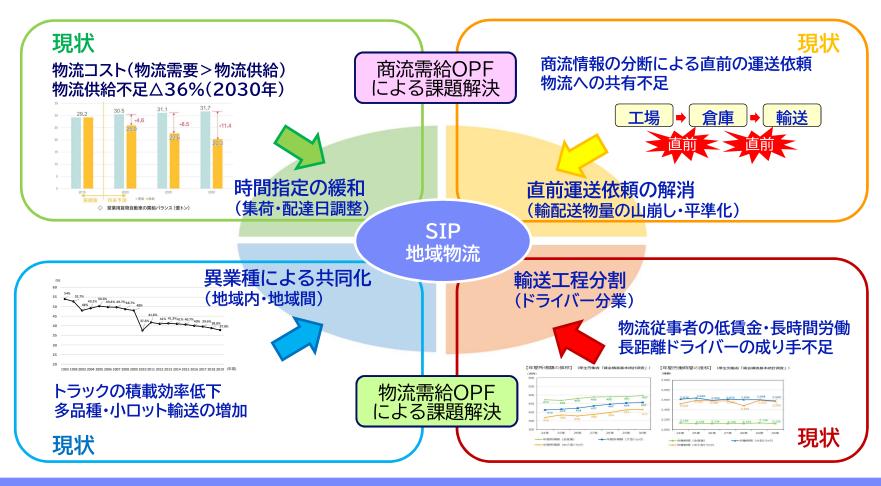


- 1. 地域物流の取り組み課題
- 2. 地域物流におけるアプローチポイント
- 3. 事業内容

## 1. 地域物流の取り組み課題



地域物流の取り組みでは、荷主企業と物流企業の「つながり」にある4つの課題を設定、デジタルを活用した課題解決を通じ、サスティナブルな物流を創造、産業・社会に貢献する。



# 2. 地域物流におけるアプローチポイント 1)輸送量の山崩し・平準化



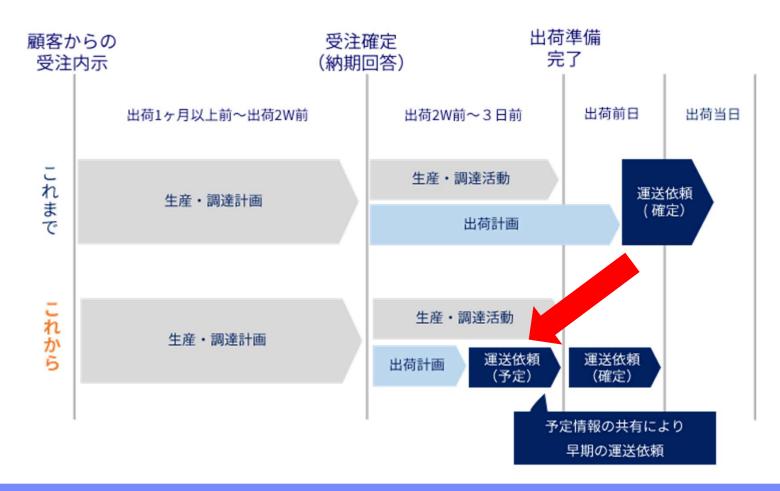
計画的な共同輸送を可能にするため、商流情報(PSI)を事前に共有し、 発荷主・着荷主と出荷日・納品日を調整、輸配送物量を「山崩し・平準化」する。

#### 戦略的イノベーション 新たな輸送手配 従来型の輸送計画 (未来) (未来) 輸送 工場 倉庫 調達·生産 販売 サプライチェーン上の 商流情報 (未来)在庫 ■PSI情報の分断 商流情報の ■直前での運送手配(調整困難) 早期共有に基づく 計画的な共同輸送が可能 ムダ 輸送リソ 輸送リ ムラ 輸送量の平準化 山崩し ່ 輸送リソースの平準化 ス (変動費·固定費削減) 時間 時間

## 2. 地域物流におけるアプローチポイント 2) 運送依頼の早期共有



荷主企業からの出荷直前の運送依頼ではなく、納期回答後の出荷計画に基づいた運送依頼(予定)の早期共有により、計画的な輸配送に転換する。

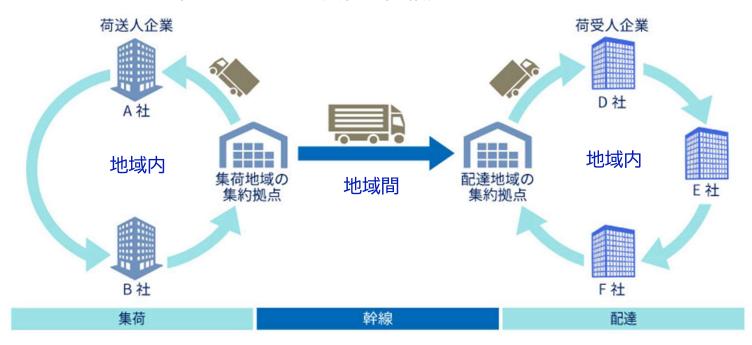


# 2. 地域物流におけるアプローチポイント 3)輸配送工程の分割(ドライバー分業)



地域内の異業種貨物(中ロット貨物パレット貨物)を対象に、輸配送工程を集荷・幹線・配達に 分割、ドライバー分業を促進し、「ムリなく運ぶ」を実現する。

### <中ロットパレット貨物共同輸配送ネットワーク>



中ロットパレット貨物 : 0.8t/運送~5t未満/運送の重量帯の貨物 (路線便による運送ができず、貸切便による運送では非効率な貨物)

## 3. 事業内容

## 1)商流・物流需給OPFの構築・事業化サマリー



2019年12月~2020年8月

2020年12月~2021年9月

商流・物流需給OPFの プロトタイプ構築 及び概念検証フェーズ

#### 「システム構築】

- ・プロトタイプの商流需給OPFの構築
- ・プロトタイプの物流需給OPFの構築

#### [概念検証]

- ・中ロットパレット貨物の共同輸配送 「地域物流」モデルの検証
- ・アピ、未来工業、(美濃工業)、ハートラ ンス、未来運輸、西濃エキスプレスに よる地域物流モデルの概念検証を 2020年3月と2020年8月に実施

幹線トラック積載率 54ポイント向上※1 ※1 現状Ave6.3/16PL → 結果Ave15.0/16PL

幹線ドライバー拘束時間 18%削減※2 ※2 現状Ave10時間20分 → 結果Ave8時間27分

> OPF:オープンプラットフォーム SP:サービスプロバイダー

中ロットパレット貨物:概ね1運送あたり0.8t~5t未満のパレット積載貨物 配送計画サービス:セイノー情報サービス(SP)が提供する輸配送サービス(地域物流・OPF活用による)

商流・物流需給OPFの プロトタイプ高度化 及び社会実証フェーズ

#### 「システム構築」

・前フェーズで構築した プロトタイプのOPFの高度化 ・SIPデータ基盤との連携

#### [社会実証]

- ・西濃運輸荷主企業の協力の下、 社会実証(試験運用)を実施
- ・SIP地域物流ネットワーク化推進協議会 の設立およびSPとしての事業化に 向けた準備

#### 集配効率:

東海39.7pt、関東17.4pt向上 幹線効率: 2.2ポイント向上

### 2021年11月~2023年3月

社会実装・事業化フェーズ

2021年11月~

SIP地域物流ネットワーク化推進協議会 による地域物流モデルの普及・啓蒙活動

2021年4月~

SPとして事業化 (配送計画サービス)

2022年7月~2023年3月

岐阜県サスティナブルな 地域物流モデル推進事業

## 3. 事業内容

## 2)商流・物流需給OPFの構築(データの流れ)



商流需給OPF:商流情報を運送依頼に変換

物流需給OPF:運送依頼と空きリソースをマッチング

